

市民版



せんじ薬・漢方薬製造販売薬局
亀齡堂薬局
漢方相談(予約制) 駐車場あります
〒602-8136 京都市上京区堀本通黒門東入
中御門横町574番地1 フォールマッドビル1F

075-803-1675
(10時~18時 土・日・祝除く)

市民版担当

075(241)6117

FAX 075(252)5454

読者応答室

075(241)5421



山壁の中腹が削られた一面に鎮座する2体の阿弥陀石仏。
生い茂るシダに囲まれながら存在感を放っている(京都市
右京区・西寿寺) 撮影・船越正宏

山肌のシダに守られ鎮座

京都市右京区鳴滝の閑静な住宅街。なだらかな坂道を上ると、石段の奥に荘厳な本堂が目に入る。尼寺の泉谷山西寿寺。本堂の西側に2体の阿弥陀石仏がたたずむ。

山肌のくぼみにある2体。真冬の寒風で、わずかにそよぐ緑色のシダが優しく石仏を包み込み、思わず目を奪われ

る。石の一部は変色してしまっている。表面ははつきりと分らない。変貌した姿にかえって風雪に耐え、鎮座してきた年月の長さを感じる。

2体は高さ80センチ、幅50センチほど。ほぼ同じ大きさで、双子のように並ぶ。右側は「寛文八年」(1668年)、左側は「寛永十九年」(1642年)の文字が刻まれている。同寺は、袋中上人が1627年(寛永4年)に開山したという。石仏は南北朝時代に作られたと伝わり、開山から間もなく安置されたと推測でき

る。今も信仰を寄せて手を合わせる住民がいる。古来、庶民を見守ってきたのだろう。「バーン」「カーン」。周

メモ 西寿寺は浄土宗。境内には、ほかにも多彩な石仏があり、本堂に鎮座する本尊の阿弥陀如来像は「厄除(よ)けの阿弥陀様」として住民の信仰を集める。高台にある境内から望む市街地の景観も魅力だ。



8 西寿寺の2体の阿弥陀石仏(京都市右京区)



高台に位置する西寿寺。境内からは京都市市街地が一望できる。

野仏に
出会う